
大会開催御礼

9月3日・4日開催の日本インターンシップ学会第17回大会には、数多くの方々にご出席いただき誠にありがとうございました。

今回のテーマは「インターンシップの多様化とその可能性」といたしました。基調講演では、東京都オリンピック・パラリンピック準備局担当部長の田中彰氏にご登壇いただき、東京都における都市ボランティアへの取組みの現状とこれからについてご講演いただきました。その後の「社会連携としてのインターンシップと人材育成」と題したシンポジウムでは、八芳園、フェスティバル／トーキョー、西武信用金庫、首都圏インターンシップ推進機構における取組み事例をご紹介いただきました。シンポジウムを通じて、多様化しているインターンシップの現状・課題、そして今後の可能性を共有できる機会になったのではないかと感じております。その後の特別講演では、経済産業省経済産業政策局産業人材政策室の橋本賢二氏にご登壇いただき、地域連携組織の現状を共有しつつ、多くの刺激を与えていただいたように思います。

また、夜の懇親会には50名以上の会員・非会員の皆様にご参加いただきました。リラックスした雰囲気の中で、有意義な情報交換の場となっていれば幸いです。

2日目は、高良記念研究助成対象者である名城大学の五十畑先生よりフランスのインターンシップについてご報告いただき、その後5会場に分かれて、計28件の研究発表が行われました。多くの会場で活発な質疑応答が行われ、まさに研究と実践の往還の場となったように感じております。

今回は大変盛りだくさんのプログラムとなりましたが、講演・シンポジウム、また会員のみなさまの日頃の研究や活動の報告を基に、皆様の経験、情報、知識を共有化する場として、有益な機会となりましたら幸いです。

なお、今回は、文部科学省、経済産業省、厚生労働省、東京都からのご後援をいただいた他、日本インターンシップ学会本部、関東支部、また多くの方々のご支援とご協力により、大会を開催することができました。ご出席並びにご支援頂きました皆様方に、実行委員会より心より御礼申し上げます。

来年度の大会は、北海道にて開催される予定となっております。今後とも学会活動にご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

第17回大会実行委員長 牛山佳菜代（目白大学）
